学習・教育目標が４月からかわります

趣旨

1. 学生の視点に立って, 学生が具体的な目標を立てやすくしました.
2. 社会 (就職先など) からの要望を反映させました.

(変更は 2008 年 4 月 1 日)

現行の教育目標

(A) 幅広い教養と豊かな知性及び柔軟な思考力の修得
人文系科目、社会系科目、総合領域、教養領域、健康運動系科目等の科目を取得することにより、地球的観点から多角的に物事を考える能力と国際的にも活躍できる自立した人材に必要な教養と思考力を身につける。

(B) 技術者倫理の修得
工学部共通科目として提供されている技術者の倫理にかかわる科目を修得し、技術が社会および自然及ぼす影響・効果、および技術者が社会に対して負っている責任を理解する。

(C) 電気・電子・システム分野の共通基礎学力の修得
電磁気学、回路理論、電気電子計測、電子回路、プログラミング等の情報技術および電気数学等の科目を修得し、数学、自然科学および電気・電子・システムに関する知識とそれらを応用できる能力を身につける。

(D) バランスのとれた専門知識と応用能力の修得
電磁エネルギー工学、電子物性工学、電子システム工学の各講座提供の科目からそれぞれ所定の科目数を修得しそれぞれの分野の専門に求められる基礎知識の習得とその応用力を身につけ、問題設定能力、問題処理能力および創造性を育てる。

(E) 学習した知識を実社会で活用できる能力の修得
卒業研究およびセミナー等の科目を修得し、種々の科学技術および情報を利用して社会の要求に応えるためのデザイン能力を身につける。

(F) 日本語の表現能力および国際的に通用するコミュニケーション能力の修得
日本語および外国語に関する科目を修得し、日本語による論理的な記述力、口頭発表力、および討議等のコミュニケーション能力、並びに国際的に通用するコミュニケーション能力を身につける。

(G) 自主的、継続的学習能力の修得
講義、卒業研究、セミナー、実験、実習、演習、およびレポート等を通して、自発的、継続的学習の習慣を身につける。

(H) 積極的に思考し、実践し、問題を解決する能力及び創造する能力の修得
卒業研究、電気基礎実験、及び電気電子システム工学実験等を通し、与えられた制約を考慮して仕事の計画を立て、主体的に計画を実行し、成果を期限内にまとめる能力を身につける。また、他分野の人との協力を含むチームワーク力、リーダーシップ力なども身につける。

新教育目標

(A) 電気電子技術者としての基礎学力の修得
- (1) 自然科学, 数学といった技術者の基礎知識・能力を修得する
- (2) 電磁気学, 回路理論, 電気電子計測といった電気電子工学の基礎を修得する
- (3) コンピュータの操作とプログラミングの基礎を修得する
- (4) データを正確に解析できる能力を修得する

(B) 電気電子分野の広がりの理解と専門的な課題に取り組む素地の獲得
- (1) 電磁エネルギー工学分野に関する知識を修得する
- (2) 電子物性工学分野に関する知識を修得する
- (3) 電子システム工学分野に関する知識を修得する

(C) 幅広い教養と豊かな知性及び柔軟な思考力の修得
- (1) 地域に根ざした歴史や文化, 多様な価値観を理解する
- (2) 幅広い教養を修得し, 国際的・多角的に物事を考える能力を身につける

(D) 技術者としてのコミュニケーション能力の向上
- (1) 論理的な記述, 口頭発表, 討論などのコミュニケーション能力を身につける
- (2) 国際的なコミュニケーションを可能とする英語を中心とした語学力を身につける

(E) 技術と社会との接点および技術者の倫理観および責任の理解
- (1) 科学技術が社会に及ぼす影響を理解する
- (2) 技術者に必須となる法規や倫理規範に関する基礎的な知識を修得する
- (3) 技術者としての責任感を身につける

(F) 問題理解, 課題解決能力の向上
- (1) 与えられた課題について問題点を理解する能力を修得する
- (2) 現有環境や現有知識を有効に活用する能力を修得する
- (3) 制約条件の下で問題点を解決するための計画立案能力を修得する
- (4) 計画を具体的に実行する能力を修得する
- (5) チーム作業における協調性と自主性について理解し, 実践できる能力を修得する

(G) 自主学習能力の向上
- (1) 期限内に課題を仕上げる習慣を修得する
- (2) 演習などをとおして, 自主的に調査・学習する能力を修得する

2008.1.25 掲示